

平成27年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ユークス

コード番号 4334 URL <http://www.yukes.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 谷口 行規

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 品治 康隆

TEL 072-224-5155

四半期報告書提出予定日 平成26年9月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第2四半期の連結業績(平成26年2月1日～平成26年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第2四半期	1,127	△3.0	65	△31.7	74	△32.9	44	△53.4
26年1月期第2四半期	1,163	105.1	96	—	111	255.5	95	222.0

(注) 包括利益 27年1月期第2四半期 45百万円 (△55.9%) 26年1月期第2四半期 103百万円 (270.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第2四半期	5.14	—
26年1月期第2四半期	11.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年1月期第2四半期	4,488	2,798	62.4
26年1月期	3,801	2,839	74.7

(参考) 自己資本 27年1月期第2四半期 2,798百万円 26年1月期 2,839百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年1月期	—	0.00	—	—	—
27年1月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の連結業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,004	17.8	541	△17.7	553	△19.3	333	△29.8	38.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年1月期2Q	11,096,000 株	26年1月期	11,096,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年1月期2Q	2,444,871 株	26年1月期	2,444,871 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年1月期2Q	8,651,129 株	26年1月期2Q	8,314,046 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法にもとづく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率の引上げにともなう駆け込み需要の反動により一部に弱さが残るものの、各種政策の効果が発現しており、景気は緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、地政学的リスクを含めた様々な要因による海外景気の下振れが、わが国の景気を下押しするリスクとなっております。

当社に関連するエンタテインメント業界では、家庭用ソフトについては、ニンテンドー3DSのタイトルを中心にミリオンタイトルを含めた複数のタイトルが好調に推移しております。家庭用ハードについては、新型ハード機である「プレイステーション4」が平成26年2月に、「Xbox One」が同年9月に国内販売されるなど、家庭用ゲーム市場に明るい兆しが見えております。また、ソーシャルゲームやダウンロードコンテンツを含むオンラインゲーム市場は、引き続き好調を維持しております。

このような状況のもと、当社グループのデジタルコンテンツ事業におけるゲームソフト分野におきまして、受託ソフトでは、当社の代表作であるアメリカの人気プロレス団体WWE (World Wrestling Entertainment) をモデルとした「WWE ゲームシリーズ最新作」の開発が順調に進捗しております。

自社ソフトでは、ダウンロード販売となる、ロボットファイティング/ボクシングゲーム「REAL STEEL」(Xbox LIVE・PlayStation Network用：平成23年10月配信開始)と、格闘ゲーム「PACIFIC RIM」(Xbox LIVE・PlayStation Network用：平成25年7月配信開始)の2作品ともに、引き続き堅調に推移しております。

パチンコ・パチスロ分野におきましては、受託タイトルの出荷台数が好調に推移しており、ロイヤリティ収入が発生しています。

モバイルコンテンツ分野におきましては、配信中の受託タイトルの売上が引き続き堅調に推移しており、ロイヤリティ収入が大きく発生しております。

新規案件につきましては、ゲームソフト分野、パチンコ・パチスロ分野、モバイルコンテンツ分野ともに複数のプロジェクトの開発が順調に進んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,127百万円(前年同期比3%減)、経常利益は74百万円(前年同期比33%減)、四半期純利益は44百万円(前年同期比53%減)となりました。

なお、当社グループは、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの業績の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して686百万円増加し4,488百万円となりました。主な要因としては、現金及び預金の減少361百万円、仕掛品の増加786百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して727百万円増加し1,689百万円となりました。主な要因としては、未払法人税等の減少71百万円、前受金の増加746百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して40百万円減少し2,798百万円となりました。主な要因としては、四半期純利益44百万円、剰余金の配当86百万円によるものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動においては221百万円の資金を使用(前年同期は597百万円の資金の獲得)、投資活動においては55百万円の資金を使用(前年同期は16百万円の資金の使用)、財務活動においては85百万円の資金を使用(前年同期は81百万円の資金の使用)いたしました。

以上の結果、現金及び同等物は、前連結会計年度末より361百万円減少し1,587百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年1月期決算短信(平成26年3月7日公表)において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により記載の予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、重要な加減算項目や税額控除項目を考慮して税金費用を算定しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,949,504	1,587,726
売掛金	155,246	330,153
仕掛品	685,554	1,472,155
その他	192,852	153,913
貸倒引当金	△504	△600
流動資産合計	2,982,653	3,543,347
固定資産		
有形固定資産	95,826	122,376
無形固定資産	18,926	23,989
投資その他の資産	704,186	798,582
固定資産合計	818,939	944,948
資産合計	3,801,593	4,488,296
負債の部		
流動負債		
未払金	284,149	251,243
未払法人税等	135,795	64,466
前受金	318,377	1,065,049
賞与引当金	81,525	78,625
その他	25,466	110,201
流動負債合計	845,314	1,569,586
固定負債		
長期未払金	62,200	62,200
退職給付引当金	54,195	57,619
その他	250	250
固定負債合計	116,645	120,069
負債合計	961,959	1,689,656
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,902	412,902
資本剰余金	432,218	432,218
利益剰余金	2,723,378	2,681,356
自己株式	△738,303	△738,303
株主資本合計	2,830,195	2,788,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,386	8,718
為替換算調整勘定	2,051	1,748
その他の包括利益累計額合計	9,438	10,467
純資産合計	2,839,633	2,798,640
負債純資産合計	3,801,593	4,488,296

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)
売上高	1,163,078	1,127,724
売上原価	629,505	628,831
売上総利益	533,572	498,893
販売費及び一般管理費	437,304	433,181
営業利益	96,268	65,711
営業外収益		
受取利息	5,750	6,499
受取配当金	592	591
為替差益	3	—
保険戻戻金	5,668	—
その他	4,298	3,305
営業外収益合計	16,311	10,396
営業外費用		
支払利息	70	1,081
為替差損	—	237
その他	970	—
営業外費用合計	1,040	1,319
経常利益	111,540	74,789
特別損失		
固定資産除却損	604	0
投資有価証券償還損	833	—
特別損失合計	1,438	0
税金等調整前四半期純利益	110,102	74,789
法人税等	14,554	30,300
少数株主損益調整前四半期純利益	95,547	44,489
四半期純利益	95,547	44,489

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	95,547	44,489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,806	1,332
為替換算調整勘定	1,918	△303
その他の包括利益合計	7,724	1,028
四半期包括利益	103,272	45,518
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	103,272	45,518
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	110,102	74,789
減価償却費	14,260	24,746
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,276	3,424
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,137	△2,899
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	81	96
受取利息及び受取配当金	△6,342	△7,091
支払利息	70	1,081
為替差損益 (△は益)	△2,233	△209
投資有価証券償還損益 (△は益)	833	—
固定資産除却損	604	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△128,216	△174,906
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△354,675	△786,601
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	22,785	—
未払金の増減額 (△は減少)	39,304	△33,633
前受金の増減額 (△は減少)	812,185	746,672
その他	82,289	63,440
小計	598,463	△91,090
利息及び配当金の受取額	5,373	6,126
利息の支払額	△70	△1,081
法人税等の支払額	△12,944	△135,149
法人税等の還付額	6,530	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	597,353	△221,195
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,819	△46,813
無形固定資産の取得による支出	△5,659	△8,664
短期貸付金の回収による収入	56	—
長期貸付金の回収による収入	235	363
差入保証金の差入による支出	△2,466	△123
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,653	△55,238
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△81,836	△85,516
財務活動によるキャッシュ・フロー	△81,836	△85,516
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,075	172
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	501,938	△361,777
現金及び現金同等物の期首残高	1,237,567	1,949,504
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,739,505	1,587,726

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年7月31日)および当第2四半期連結累計期間

(自平成26年2月1日至平成26年7月31日)

当社グループの事業は、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。